



Room to Read®

アニュアルレポート 2021

EDUCATION

EQUALS



教育がもたらすものとは？

子どもの頃感じた、声を出して読み上げたときの満ち足りた気持ちを覚えていませんか？安らかで心地のよい部屋で、遠い異国のおとぎ話に思いを巡らせながら、眠りについたことはありませんか？初めて読んだ本が、世界を新しい視点でとらえるきっかけになったことはありませんか？

そう感じたことがあるなら、教育とは、自信や好奇心、共感をもたらす、コミュニティを作り上げるものであることが分かるかと思います。

教育は、どれほど困難な境遇に生まれようとも、誰にでも平等に夢の実現をかなえるために欠かせません。

しかし、いまだに基本的な読み書きができない成人の数は世界で7億7300万人にのぼり、その3分の2は女性です。

ルーム・トゥ・リードは、子ども達が自らの将来を選択し、生涯学び続けられるよう支援することで、この現実を変えていきます。

教育は、気候変動、世界規模の感染症や経済格差の拡大など、いまだ解決に至らない問題が積み上げられている世の中に風穴をあけ、公平な社会をもたらせるものです。

教育は、個人の機会、成長、無限の可能性を広げるために欠かせません。また、教育とは、子ども達とその人生を確かなものとし、新たな世界への手がかりとなる本を読むときに感じられる喜びでもあります。

教育とは何かを考えながら、この年次報告をお読みください。学習の機会は、人生の選択に大きな影響を与えるものです。ルーム・トゥ・リードへの支援は、世界中の子ども達にも同様の可能性を生むことになります。

教育 = 結果

支援を受けた子ども

2

教育 = 学習

Literacy Program Updates

10

教育 = 充実

Girls' Education Program Updates

20

教育 = 変化

Partner Highlights

28



教育 = 結果



2021年、世界の教育環境が変化を続ける中、ルーム・トゥ・リードはプログラムと評価方法の柔軟性を維持しながら子ども達に必要な教育支援の変化とそれを支える教育システムに対応してきました。ルーム・トゥ・リードは、活動を行っている国々で大きな飛躍を遂げ、2021年には新たに880万人を超える子ども達を支援することができました。





2021 世界的な実績

教育を通じて、多くの子どもたちの人生を変え、誰もが読み書きができ、ジェンダー不平等のない世界を築く。

支援を受けた子どもたちの累計

新規:
800万人以上
累計:
3200万人以上

活動地域

国:
21カ国

識字教育プログラム

子ども達が自立して読み書きができるようになり、生涯にわたって学べるよう支援するプログラム。

支援を受けた学生

新規:
8,361,672人
累計:
28,435,816人

識字教育プログラムを導入した学校

新規:
3,034校
累計:
51,043校

2021年にトレーニングを受けた教員と図書室司書

8,767人

児童書

新規:
108冊
累計:
1,977冊

採用された児童書数

新規:
298冊
累計:
1,926冊

配布した本の累計

新規:
4,087,696冊
累計:
36,544,196冊

女子教育プログラム

少女が学業で成功し、人生の重要な決断をするためのライフスキルを確実に身につけるプログラム。

支援を受けた学生

新規:
429,655人
累計:
3,325,607人

進学率

97%



約束の実現

品位のある表現へのこだわり

ルーム・トゥ・リードは、より公平で公正な世界を作る言葉の力を信じています。そのため、2021年に表現方法に関するガイドラインを更新し、人々やコミュニティへの対応をより品位のある確かなものへと意識し、配慮しながら変えていくことを追求しました。

直面している課題や現在置かれている状況にかかわらず、誰もが、その個性と主体性を認識し、生来の敬意と尊厳をもって表現できる未来を期待しています。

多様性、公平性、包括性、ジェンダー平等、環境持続可能性への取り組み

ルーム・トゥ・リードは、5年間の事業戦略において、活動時のジェンダー平等、多様性、公平性、および包括性を強化し、適切な環境持続可能性の実践を確実に組み込むこと

に取り組んでいます。これらの組織的な取り組みは、プログラムと世界的な事業の品質と持続可能性を強化するものです。これらの領域での実績は、次の通りです。

- ・ **ジェンダー平等**：組織のジェンダーに配慮したモデルを開発し、ジェンダーポリシーの推奨事項とトレーニングを開始しました。また、NPO法人イクイムンド (Equimundo) と協力して女子教育プログラムのライフスキルに関するカリキュラムを見直すとともに、ジェンダー変革を促進する方法を特定しました。さらに、ジェンダー平等に対する理解を促進するための男子向けのプログラムを考案しました。
- ・ **多様性、公平性、包括性 (DEI: Diversity, Equity and Inclusion)**：参加型の組織 DEI 評価を構築し、フォーカスグループでの意見交換、事務所やあらゆる職員のスタッフとの面談、組織の DEI 目標を通知するための世界規模のスタッフ調査などを実施しました。また、ス



タッフのワークショップとトレーニングを実施しました。さらに、プロセスの諮問機関として機能する DEI ワーキンググループを設立しました。また、支援している子ども達とコミュニティの多様性を表現する物語や絵図を取り入れた児童書のコレクションの開発を継続しました。

- **環境の持続可能性:** 責任を持って指導し、世界の変革を促進する子どもたちを育成するという取り組みの一環として、次の3つの環境配慮戦略の優先事項を定義しました。

- (1) 環境リテラシーを統合したプログラムを策定する
- (2) プログラムの取り組みを通じて、長期的な環境管理を促進する
- (3) 環境配慮型の運用慣行を充実させ、組織内の環境配慮への意識を向上させる

これまでに、環境戦略ロードマップを作成し、組織内外のステークホルダーと一緒に重要課題評価を実施してきました。これらの活動から、GGH(温室効果ガス)フットプリント、気候正義、および資材管理を重要な目標として特定しました。さらに、「女子教育プログラム」のライフスキルカリキュラムに組み入れるための気候変動カリキュラムを開発し、気候変動に関する正義を訴える児童書シリーズに着手しました。また、スタッフがベストプラクティスをグローバルに共有できるようになりました。



ルーム・トゥ・リードをご支援くださる皆さまへ

教育は誰にとっても多くのものをもたらします。例えば私の母にとって、教育は、早婚を避け、看護師としての訓練を受け、医療のキャリアを歩み始めるという自由をもたらしました。私の息子と娘にとって、教育は、知識を得て、夢のある未来を形成する機会をもたらします。スリランカの女子教育プログラムに参加しているデウミニにとって、教育は、知識と手段をもたらし、表彰されるほど豊かな菜園を作り上げ、スリランカが史上最大の困難に瀕した時期に、自分の家族を養うための食料を供給できるほどの成長がありました。

デウミニやその他多くの若者にとって、教育とは、危機的状況にある世界に混在する数多くの障壁を乗り越えるための忍耐力をもたらすものです。世界的なパンデミックによる経済的影響により、少女は学校を中退し、早々に結婚しなければならないという重圧を受けながらも、2021年に学校が再開すると同時に、女子教育プログラムに登録していた少女の95%が教室に戻ってきたことを誇りに思います。これは、ソーシャルモビライザーのネットワークが、年間を通じて55万回以上のリモートメンタリングセッションを提供したことによるものです。これらのデータの背景には、実に多くの、心が動かされる物語があり、その一部をこのレポートでも取り上げています。

また、2021年には、ルーム・トゥ・リード史上最高となる400万冊の児童書を配布することができました。子ども達がどこにいても質の良い教材を手にすることができるよう、現地で利用できる範囲のあらゆるインフラ（ラクダ、船、自転車、トラック、電話、パソコンなど）を活用すると同時に、家庭学習の円滑化と微調整を行うことで、プログラムを一段と強化しました。さらに、規模を重視し続けてきた成果として、行政パートナーが、ルーム・トゥ・リードのモデルに応答し、プログラムの要素を世界中の教育システムに統合しました。

教育危機の大きさが明らかになるにつれて、ルーム・トゥ・リードのプログラムの幅と深さを広げていくことが不可欠です。世界銀行 (World Bank) は、中低所得国の10歳児の70%に、簡単な物語を読む能力がないと推定しており、これはパンデミック前の57%から増加しています。このような学習機会の喪失がもたらす長期的な影響として、世界の国内総生産が2040年までに0.9%、つまり1.6兆ドル(224兆円*)相当が減少する可能性があるとしています。*\$1=140円

ルーム・トゥ・リードには、この危機的な状況を回避し、子ども達の教育を受ける基本的権利を守るためのソリューションがあります。選り抜きの理事会メンバー、支部のボランティアサポーター、投資家、パートナー、およびスタッフの寛大で揺るぎない力添えにより、2021年には880万人以上の子ども達を支援することができ、進化する子ども達と家族のニーズに対応するために、さらに充実した環境を整えることができました。

女子教育プログラムを卒業したタムは、ルーム・トゥ・リードのスタッフを「種をまく人たち」と呼んでいます。若者の「心を育む夢と希望の種」をまいていることに由来しています。私達ルーム・トゥ・リードは、誰もが望んでいる公平で、平和で、豊かな世界を次世代に引き継ぐために、引き続き力を合わせて大量の「種」をまいてまいります。

ギータ・ムラリ博士
ルーム・トゥ・リード CEO



親愛なる支援者の皆さまへ

個人の成功と充実にとって、教育ほど重要なものはありません。それが、何年も前にルーム・トゥ・リードに初めて惹きつけられてから、今もなお、この組織への情熱を燃やし続けている理由です。ルーム・トゥ・リードは、どんな困難にも立ち向かい、期待をはるかに上回る成果をあげています。たとえその困難が、COVID-19とその余波を乗り越えることであろうと、5年後には20年前の2倍となる2000万人の子ども達を支援するという計画を実現しようとしています。

ルーム・トゥ・リードをご支援くださる皆様は、資金がどのように運用されるかに深い関心を寄せています。ルーム・ト

ゥ・リードは、誰もが読み書きができ、かつジェンダー不平等のない世界を作るという、明確で説得力のある達成可能な使命を追い求めて、一流企業に期待されるような規律を確保しています。

ルーム・トゥ・リードが実現した成果には疑いの余地がありません。ルーム・トゥ・リードの子ども達は、比較対象校の子ども達に比べて、読むスピードが速く、理解力も高くなっています。同様に、ルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムの参加者の大多数は、就学を続け、やりがいのある仕事に就いたり、高等教育に進んだりしています。

簡単な答えのない多くの課題がある世界で、教育は根本的に解決可能な問題であり、ルーム・トゥ・リードはそれを解決できる並外れた技能を備えています。ルーム・トゥ・リードには、現地コミュニティの一員となり、かつ実績のあるプログラムを大規模に実現する優秀なローカルチームを構築するノウハウもあります。

私はこの活動が実際に行われている現場を何年にもわたって、何度も見てきました。最近では、家族と共に南アフリカにあるルーム・トゥ・リードの学校と図書室を訪問した際に、その様子を目にしました。読み書き能力を誇らしげに披露する子ども達の笑顔に囲まれた教室で過ごす時間は、何ものにも代えがたいものです。生徒たちが、先生から励まされながら新しい単語を発音し、その表情が明るくなる様子は、忘れがたい体験として目に焼き付きました。

このような「光明」の瞬間は、学ぶことが、いかに困難なものであるかを体感したことのある私にとって、特に意味のあるものです。私が失読症を克服し、読めるようになったのは、先生方の献身的な努力と家族の支えがあったからです。たった一人の先生が信じてくれるだけで、人生の軌道が変わるということを個人的な経験からよく知っています。

グローバル理事会の理事長として、より多くの若者が、ルーム・トゥ・リードの支援を通じて、人生が変わるほど導いてくれる先生や心強いメンターと出会い、良質の学習教材にアクセスできることを期待するとともに、特に中東などの新しい地域、さらに、初めてとなる緊急環境や難民コミュニティでの活動を願っています。

私の人生において、仕事上の成功はたくさんありますが、ルーム・トゥ・リードの仕事ほど誇りに思えるものではありません。何百万人もの子ども達が明るい未来を築けるよう常に支援しながら、誰にとっても明るい未来を築けるよう、優秀で献身的なサポーターによる幅広いネットワークと力を合わせて行くことに、身の引き締まる思いでいっぱいです。皆様のご協力とご支援に心から感謝申し上げます。

敬具、

ユスフ・アリレザ

ルーム・トゥ・リード グローバル理事会理事長

教育 = 学 习



ルーム・トゥ・リードは、読み書きが将来のあらゆる学習の基礎になると考えています。

識字教育活動では、子ども達が自立した読書家となり、生涯学習者となるよう支援しています。識字教育プログラムを通じて、教員や司書のトレーニングや指導を行い、良質の絵本やその他の教材を作成し、現地語に翻訳された児童書が充実した図書室を設立しています。また、地域社会、政府機関、および出版業界と提携して、子ども達がしっかり学び、読書が好きになるような画期的なモデルを試行した上で、本格的に実施しています。さらに、実践している識字教育を公的な教育システムに統合し、識字教育の成果を大きなスケールで形にしています。



数字で見た2021年の識字教育プログラム：



新しいルーム・トゥ・リードプログラムのテレビ放送：**174本**



新しいルーム・トゥ・リードプログラムのラジオ放送：**1,225本**



教師、作家、およびイラストレーターのバーチャルトレーニング時間：**50,501時間**



本やワークシートなどの印刷物を受け取った子どもの数：**387,186人**



識字教育プログラムの目的を促進するために送信されたダイレクトメッセージの数：
24兆632億88百万件



教育 = イノベーション

ルーム・トゥ・リードは、経験から学習する組織であり、コロナ禍で多くのことを学びました。2021年には、2020年に得た知識を土台にして、サービスを提供するコミュニティで変化するニーズに合わせてプログラムをさらに適応させ、より多くの子ども達を支援するために提供方法を改善しました。COVID-19により、世界中の学校システムで混乱が続いていたことから、リモートラーニング戦略を強化しました。テレビとラジオ番組を追加し、デジタルライブラリー「リテラシークラウド」に数多くの本を多言語で追加し、教員向けのバーチャルトレーニングと学校再開に合わせた対面式トレーニングの両方のアプローチを強化し、児童書や学習用ワークシートなどの印刷教材をより多く配布できる革新的な方法を編み出しました。このような取り組みにより、子ども達は自宅でも学習に励み、学校が再開された時には教室に戻ることができました。

ここで、2021年に一貫して、子どもたちが学習し続けられるよう実施したクリエイティブな活動の一部をご紹介します。



本を船で届ける(インド)

「India Gets Reading at Home (インド、家庭で本を楽しむ!)」というスローガンのもと、本の配布キャンペーンを2021年に開始しました。これは、移動図書館を意味し、船や自転車だけでなく、ラクダの背中も活用しました。このような馴染みやすく、遊び心のある、きわめて効果的な移動手段を9州で展開し、子ども達の心をつかめる現地語の絵本を届け、パンデミックによる学校閉鎖期間であっても、どこにいても確実に学習を続けられるようにしました。

テレビ視聴者の心をつかむ(スリランカ)

スリランカでは、2021年3月に同国最大の教育チャンネルGuru TVと提携し、推定170万人の視聴者に向けてタミル語とシンハラ語の両方で、読書の時間やライフスキルの授業(金融リテラシーに関する番組を含む)を配信しました。ライフスキルのエピソードを平日に放送し、読書の時間は週末に繰り返し放送して、できるだけ多くの子ども達が役立てられるコンテンツにしました。





デジタルデバイドを解消する(南アフリカ)

2021年の初めに、識字率向上チームは、クワズール・ナタール州の新聞社と協力し、学校閉鎖期間中に、長きにわたり低所得でリソースが不足している地域で多くの子ども達が抱えているデジタルデバイド(情報格差)を解消するために、毎週、読書活動やデコーダブル(単語を各アルファベットに分解する識字教育手法)向けの絵本を印刷しました。この絵本は、早期識字能力開発で学習する文字や文字の組み合わせ(書記素)で書かれており、幼い子ども達の発達段階に応じた読書体験を提供することで、フォニックスのスキル、流暢さ、自信を付けるのに最適な教材です。

トレーニングへのアクセスを拡大する(バングラデシュ)

バングラデシュのチームは、地方自治体パートナーと協力して、自治体のウェブサイト「Aspire to Innovate」において、バーチャル図書室管理トレーニングプログラムを開始しました。このサイトは、公共セクターの変革を支援する革新的なデジタルコンテンツを提供しています。2021年後半に公開されたこのトレーニングプログラムは、いつでもどこでも無料でオンラインアクセスでき、バングラデシュ全土の何千人もの教員、司書、その他の教育関係者が、図書室管理や低学年の識字教育開発に焦点を当てたコンテンツにアクセスできるようになっています。また、アクセス性を高め、国全体でコンテンツの影響力を高めるため、トレーニング資料はダウンロード可能な形式でモバイルアプリにアップロードされました。



デジタルライブラリに本を追加する

2021年、デジタル学習プラットフォーム「リテラシークラウド」(Literacy Cloud)のコンテンツをさらに充実させ、紙媒体の現地語絵本のタイトルをさらに追加しました。「リテラシークラウド」では、現在32言語、2,128タイトルを超える電子書籍を提供しています。



「ラジオスクール」を提供する（ネパール）

ネパールのチームは、2020年の一斉休校の際に初めて、「ラジオ・スクール」を立ち上げ、ネパール全土で電波を活用して、児童がいる家庭に低学年の読み書きの授業を届けました。ラジオは今でも世界中で最も一般的に利用され、アクセスされている媒体であり、このラジオ番組は、子ども達が家庭でインターネットやテレビをあまり利用できない、歴史的に低所得の地域において特に重要な役割を担っています。2021年3月までに、識字率向上に焦点を当てた100本以上のラジオエピソードを20の異なるラジオ局で放送することに成功し、ネパール全土の302,000世帯以上を支援しました。

教育 = アクセス



ルーム・トゥ・リードは2021年に、最大年間配布数となる400万冊以上の本を配布しました。過去22年間と累計で3,600万冊以上の本を配布したことになります。書籍も昨今の物流混乱の影響を受けの中で、革新的な識字教育の取り組みと、地方自治体や出版社との力強いパートナーシップにより、より多くの本をより多くの子どもたちに途絶えることなく届けることができました。

ここで、2021年により多くの本をより多くの子どもたちに配布することを実現した革新的な取り組み一部をご紹介します。

プログラムと教材を開発する(中東)

2017年、ルーム・トゥ・リードは中東で活動を開始しました。パートナーであるドバイ・ケアズ(Dubai Cares)の支援を受けて、ヨルダンの地域パートナー、作家、イラストレーター的能力を高め、アラビア語で高品質の児童書を作成し、ヨルダン政府の小学校、非公式の学校、難民キャンプに20種類の新しい絵本を60万冊以上配布しました。セサミ・ワークショップ(Sesame Workshop)や国際救済委員会(International Rescue Committee)と協力して、さらに児童書12話を作成し、ヨルダン、シリア、レバノン、イラクの子ども達に配布しました。

2021年、Googleはレバノンで最初の2年間のプロジェクトを開始し、非公式の教育環境で子ども達の識字能力の向上を支援している地域の非営利団体に技術支援を行いました。識字教育プログラムチームは現在、効果的な識字教育プログラムの開発支援のほか、同国の難民キャンプやリソースが不足している公立学校にアラビア語の児童書を配布する支援を行っています。今後、他の中東・北アフリカ諸国でもこの手法を適用していきたいと考えています。

児童書制作の課題を改善する(ウガンダ)

2020年、識字教育プログラムチームは、ウガンダにおける書籍のサプライチェーンの課題を明らかにし、このギャップを解消する方法を戦略的に検討することに着手しました。その後、2021年初頭にウガンダ読書協会(Reading Association of Uganda)と提携し、ルガンダ語に翻訳されたルーム・トゥ・リードの絵本35,000冊を同国内の小学校に迅速に配布しました。

翻訳された本の最初の配布は、ウガンダにおける児童書へのアクセスや不足を解消するための重要な第一歩となりましたが、児童が生涯にわたって読書を愛し、習慣づけるためには、自国の文化、歴史、生活体験を反映した、自国の言語で書かれた物語が必要となります。そのため、ルーム・トゥ・リードは現在、ウガンダの作家、イラストレーター、ブッククリエイター、出版社などの協力を受けて、同国初のオリジナル児童書を作成しています。作家とイラストレーターを交えた第一弾のワークショップには、ウガンダの兵士とコンゴの難民作家2名をはじめとする、多様なブッククリエイターが集まりました。

ホームライブラリーの本棚を埋め尽くす(カンボジアとラオス)



2年間にわたり、ルーム・トゥ・リードは、カンボジアとラオスの自宅で学習する学生を対象に、ホームライブラリーパッケージというものを考案し、配布してきました。このパッケージには、現地語の児童書、学習用ワークシート、保護者や養護者向けの指導ガイドが含まれており、学生が家庭で識字能力を向上できるよう支援しています。2020年にこのホームライブラリーパッケージという取り組みを開始して以来、カンボジアとラオスのチームは、地域全体の児童に140万冊以上の本を配布しました。

ルーム・トゥ・リードがこれらのパッケージの有効性について評価した初期データによると、調査対象家庭の95%が、学校閉鎖期間中に、少なくとも週に1回はホームライブラリーパッケージを子どもと一緒に活用し、ほとんどの子どもが一人でも頻繁に児童書を読んでいることが明らかになりました。またデータによると、3年生から6年生までの子ども達の80%が家族に児童書を読み聞かせており、その多くがその児童書を友だちと共有していることも分かりました。この広範な共有は、これらのコミュニティで読書文化がますます活発になっていることを示しています。

主張に対応する(米国)



米国において、ルーム・トゥ・リードは、2021年に、教育の不平等が根強く、十分な教育を受けていない子どもたちは、多様なアイデンティティや経験を反映した児童書にアクセスできないという事実が明白に示された調査結果を発表しました。独立研究者によるこの研究に対して、2014年以来、ルーム・トゥ・リードのプログラムに投資してきたグローバルなスキンケアブランドのタッチャ(Tatcha)社から資金が助成されました。この調査では、識字教育と歴史的にリソース不足に陥った多様なコミュニティ向けの書籍出版に関するルーム・トゥ・リードならではの専門知識を通じて、教育の平等への投資が最大の利益をもたらす米国地域を特定しました。

教育＝充実



プラティック (ネパール)

集中して勉強する空間を作る

プラティックの家の玄関先には、長くて幅の広い机が置かれています。机の上の壁には色とりどりの本が、手が届きそうな位置に整然と並んでいます。その下にあるラジオの隣には、ノートとワークシートがきちんと置かれています。プラティックはこのラジオでルーム・トゥ・リードの識字教育プログラムを聞いています。

これは、ネパールの9歳の学生、プラティックのホームライブラリーであり、集中力と想像力を養うための空間であり、教室以外で勉強に集中できる快適さと好奇心を駆り立てる空間です。

コミュニティの多くの子ども達と同様に、プラティックも2021年の学校閉鎖期間中は、教育を受け続けることが困難でした。家族の中で学

校に通う初めての世代だったため、家族はあまり、プラティックの勉強を手伝うことはできませんでした。また、自宅にはインターネット接続などリモート授業に必要なテクノロジーがないために、プラティックはオンライン授業には参加できず、複雑で混乱した教育環境を一人で切り抜けることになりました。

世界的に加速する教育危機に対応するため、ルーム・トゥ・リードのチームは、ネパール全土の生徒たちに家庭学習用パッケージを配布しました。6,000人以上の子ども達が、ガイド付きワークシート、鉛筆などの文房具、児童書、塗り絵などが入ったパッケージを受け取りました。また、保護者向けにワークシートの使い方、効果的な学習環境や学習スケジュールの整え方などを案内しました。プラティックをはじめとする多くの子ども達は、自宅の中に読書する場所を夢中になって見つけました。

「いつも家の中に本を読める場所があったらいいなと思っていたんだ。家で勉強するためのキットには、本も入っていて、自分だけの小さな図書室を作るきっかけにもなったんだ。家の中の明るい場所をお姉ちゃんと探して、ポーチに決めただ。ここなら本棚にちょうどいい白い壁あって、家族もここによく集まって話すしね。家族に物語を読んで聞かせることもできるしね」とプラティックは語りました。

教育＝スケールの大きいメリット

ルーム・トゥ・リードの戦略的優先事項のひとつは、活動するコミュニティにおいて、システムレベルの影響を持つようにプログラムを設計することです。国や地方自治体とのパートナーシップにより、識字教育とジェンダー平等に関する活動の中核となる要素を、教員トレーニング、学校カウンセリングなどの公立学校のシステムに統合し、主流化することで、長期的な制度改革を実現することができます。

2021年に活動のスケール拡大を可能にした取り組みの一部を紹介します。

基準を設定する(ベトナム)

まず、ルーム・トゥ・リードの図書室モデルをベトナムの国家図書室政策に組み込むことを目標に掲げ、2018年にベトナム教育訓練省(MOET)との長期的な国家図書室パートナーシップを開始しました。MOETはルーム・トゥ・リードのモデルの有効性を認識し、迅速にこのアプローチをスケールアップするために多額の投資を続けてきました。2018年のパートナーシップ確立から2021年までに、MOETは1,320件の拡張型図書室、つまり、ルーム・トゥ・リードのデザインとプログラミングを活用しつつ、政府パートナーが完全に主導・出資・実施する形態の図書室を設立しました。ルーム・トゥ・リードは現在、その図書室モデルが新たな図書室基準に統合され、全ベトナム全土に展開されるよう取り組んでいます。

カリキュラムを導く(タンザニア)



2021年のタンザニアの国家カリキュラムの見直しに備えて、タンザニア教育研究所(Tanzania Institute of Education)の所員とワークショップを2回開催し、低学年のカリキュラムと国家シラバスにルーム・トゥ・リードの識字開発モデルの統合を進めました。ルーム・トゥ・リードのスタッフは、協力的なプロセスを通じて参加者を導き、政府の教科書の指導順序を決定し、国のカリキュラムに存在する格差の特定を支援しました。国の教育システムを支援し、強化することで、タンザニアのより多くの子ども達の利益を守り、世界に変革をもたらす人材を育成することができます。

モデルを構築する(カンボジア)



2年前に、ルーム・トゥ・リードはカンボジア教育・青少年・スポーツ省と国立図書館パートナーシップを組みました。このパートナーシップの目的は、全国の小学校に質の高い図書館プログラムを普及させるというシンプルなものでした。

2021年末までに、政府のワーキンググループを率いて、ルーム・トゥ・リードの図書室モデルに基づく国立図書館パッケージを作成しました。このパッケージには、図書室運営に関するガイドライン、一連の図書室活動、文章の難易度に応じた本の分類(書籍のレベル分け)、この取り組みに対するコミュニティの参加を強化するための提案などを取り揃えました。カンボジアの国家図書館パッケージにルーム・トゥ・リードの図書室モデルが含まれたことで、パッケージの展開、

効果的な図書室プログラムについて教員や政府の図書室専門家のトレーニングを支援するというルーム・トゥ・リードならではの立ち位置を得ました。

教育 = 变化



教育は多くのものを生み出します。

教育とは、夢を見る機会、情熱を形にする機会、選択する機会を生みます。

また、教育とは、つながりを生むものであって、自信を育み、成功を応援してくれる人たちとのつながり、成長を支えてくれるコミュニティとのつながりが生まれます。

女子教育プログラムの参加者をはじめとする多くの学生にとって、教育はまさに変化を生むものです。



数字で見る2021年の女子教育プログラム



テレビ放送された新しいルーム・トゥ・リードのプログラム: **205番組**



ラジオ放送された新しいルーム・トゥ・リードのプログラム: **494番組**



紙媒体の教材(本やワークシート)を受け取った学生数: **11,604人**



個別のリモートメンタリングを受けた少女の数: **31,322人**



個別のリモートメンタリングセッションの配信数: **285,242件**



女子教育プログラムの目標を支えるために送信されたメッセージ数: **2,974,514件**



ルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムは、自分自身の人生、地域社会、そして世界に前向きな変化をもたらすための準備をします。ライフスキルカリキュラム、メンターシップ、ピアサポート、家族や地域社会との関わりを通じて、少女たちが学校でしっかり学び、人生の重要な決断に必要なツールを確実に身につけられるようにします。さらに、あらゆる性別の若者が、ジェンダー平等の世界を築くための知識やスキルを身につけられるよう支援します。また、行政が自国の教育システムを通じて同様のプログラムを提供し、大きなスケールで変革を実現できるよう支援しています。

教育 = 発明

ライフスキルで導く：ライフスキルのカリキュラムと配信モデルの向上

ルーム・トゥ・リードのライフスキルに関するカリキュラムは、少女達が成功の道を描き、地域社会や世界をより良い方向に変えていくことを長年にわたって支援してきました。プログラムを通じて、少女達が自信、忍耐力、批判的思考、コミュニケーションといった重要なスキルを身につけられるよう支援してきました。また、金融教育や気候変動などのテーマに焦点を当てたカリキュラムは、少女達が夢を追いかけるために必要な知識やサポート、決意を得ることにつながっています。

コロナ禍では、さまざまな状況下で少女達が教育を受けることになりました。そのため、学校でも学校以外でも、安定した環境でもそうでなくても、プログラムを提供できるようモデルを多様化する必要に迫られました。ラジオ放送、テレビ放映、書籍、インターネット上のプラットフォームやメッセージングアプリなど、あらゆるコミュニティに暮らす少女が一番アクセスしやすい手段に合わせて、コンテンツの配信方法を迅速に調整してきました。あらゆる手段を駆使して、あらゆるジェンダーの学生が、日常の困難を効果的に切り抜け、自らの擁護者となり、地域社会やそれ以外の場所でジェンダー規範に立ち向かうために必要なスキルを身につけられるよう、さまざまな手がかりを提供しています。



「私のように、娘を学校に通わせることにメリットを感じていない人たちにも働きかけてくれるルーム・トゥ・リードのような組織がこの国にあることに感謝しています。娘の教育を支援してくれたルーム・トゥ・リードに心から感謝しています。そして、私のように女子教育の大切さに気づく保護者が増えることを願っています」

- サンワー (インド、女子教育プログラム参加者父兄)

2021年に何百万人もの学生にライフスキルの授業を提供するために活用したツールをいくつか紹介します。



ライフスキルをストリーミングする(ベトナム)

ベトナムでは、7年生と8年生の少女を対象に、学校閉鎖期間も学習し、先生やクラスメートとつながることができるライフスキルのビデオシリーズを導入しました。クリティカルシンキングからリプロダクティブヘルスまで、さまざまなトピックの動画をYouTubeで配信しました。ライフスキルのコンテンツは、教員主導のバーチャルディスカッションによるものに拡張され、共感やクリエイティブな問題解決といったトピックをより深く掘り下げる機会を生徒に与え、世界中の少女が一段と孤立してしまいうようなときに、教育コミュニティとのつながりを強化することができました。



ラジオに出演する(ネパール)

ネパールチームは2021年に、100回以上のユニークなラジオエピソードを作成・公開し、家庭で勉強する生徒たちにライフスキルの授業を提供するとともに、感情の管理、健全な人間関係の構築、結婚の遅延、家庭での勉強、目標設定など、パンデミック時に特に重要となるテーマについて少女達とその家族からの質問を取り次いでいます。この頼もしいラジオ番組によって、一人でも学ぶことが可能になり、学校閉鎖中に、テレビやインターネットにアクセスできない少女達が活用しました。



様々なアプローチをする(インド)

ルーム・トゥ・リードのソーシャルモビライザーと呼ばれるメンターは、定期的なバーチャルメンタリングセッションを通じて、インドでの女子教育プログラムに登録している多くの生徒が、自宅での学習についていくために、追加の支援教材を必要としていることがわかりました。これを受けて、パートナーコミュニティ全体で女子特有のニーズを満たすアイテムをまとめた物理的な学習キットを用意しました。例えば、幾何学用品一式(分度器やコンパスなど)、ノート、鉛筆、ペン、鉛筆削り、定規などの学用品のほか、模擬試験、教科書、ライフスキルワークシートなどの参考書や教材、マスクや手の消毒剤などのパンデミックに特化した健康用品などを入れて配布しました。



バーチャルでつながる(カンボジア)

学校閉鎖中でも学習し続け、学校再開後に安全に教室に戻るために必要なサポートを確実に受けられるよう、カンボジアのルーム・トゥ・リードのメンターは、2021年に女子教育プログラムで6400人以上の少女達と個別のリモート相談セッションを行いました。また、メンターは中高生を対象に、ジェンダーに基づく暴力、COVID-19に関する安全対策、早婚などの逼迫した課題に重点を置いたライフスキルのバーチャル授業を実施しました。Google Meetを活用して授業を行い、デジタルメッセージングアプリで録音・共有したため、インターネットにアクセスできないプログラム参加者も含めて全員がディスカッションのメリットを受けることができました。



村々を訪問する(ラオス)

COVID-19による学校閉鎖期間中、女子教育プログラムでは、生徒たちが、ライフスキルカリキュラムに参加できるよう、ラオスのルーム・トゥ・リード教育担当者は、地域の行政パートナーと協力し、村ごとに移動式のライフスキルセッションを開始しました。先生やメンターは、3ヵ月間にわたり、女子教育プログラムの参加者とその家族と面談を安全に進めるために80ヵ所の村を訪問しました。生徒たちはこの3ヶ月間に、3回の対面レッスンを受け、目標を設定し、自宅での学習中に効果的な学習スペースや習慣を作り、自らの擁護者となり、複雑な感情をコントロールし、かつ勉強に集中するために必要なツールを身につけることができました



平等を実現するためのライフスキル

ジェンダー平等を実現するには、女性や少女だけでなく、みんなで取り組む必要があります。そこで、イクイムンド(Equimundo)と地域の草の根組織「Gender and Development for Cambodia」と協力し、ルーム・トゥ・リード「平等を実現するためのライフスキル」(Life Skills for Equality)の試験的なプロジェクトを通じて、男子向けのライフスキルカリキュラムを開発・提供しています。このカリキュラムは、不平等を永続させるジェンダー規範や態度について少年たちが考えることができるよう、特別に計画されたもので、カンボジアのチームが実施した大規模な調査と徹底したニーズ評価プロセスの成果でもあります。2021年には、このカリキュラムを広範囲に普及させるために、教員や他のプログラムリーダーを対象とするトレーニングを行いました。

教育 = 信頼



シャモディ (スリランカ)

メンティーからメンターへ

シャモディが2012年にルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムに参加した当初は、何を期待したらいいのか見当もつかなかったそうです。シャモディはルーム・トゥ・リードについては聞いたことがなかったし、そのプログラムに参加してどうなるかは、知る由もありませんでした。

初日にシャモディはソーシャルモビライザーに会いました。その人がシャモディにとって重要なメンターになるまでに時間はかかりませんでした。そのソーシャルモビライザーは、女子教育の重要性に加えて、コミュニケーション、時間管理、リーダーシップといった基本的なライフスキルについてシャモディと協力すること

の大切さを両親に伝えるために定期的にシャモディの自宅を訪問しました。ソーシャルモビライザーはまた、シャモディが自宅に図書室や勉強部屋を設置するサポートをし、スケジュールの立て方を教えました。共に過ごす時間の中で、シャモディの自分を信じる力と自分の能力は高まり続けました。

「ゆっくりと、自分が変わっていくことを実感しました。それまでの私は、人前で話したり、自分の意見や気持ちを表現したりすることが苦手でした。ソーシャルモビライザーと一緒に頑張った結果、私は、グループ活動のリーダーになりたいと思ったり、グループの一人一人にそれぞれの考えを述べる機会を平等に与えたりしていました。

ライフスキルの授業と個別のメンターセッションで自信がつき、シャモディは討論会や演劇のような課外活動に参加するようになりました。シャモディは、自分の力で過去の体験について書くことがよくあり、その体験が自分の人間関係やアイデンティティをどのように形成したかを考える時間を作っていました。全国試験が近づくと、シャモディはソーシャルモビライザーと一緒に、マンツーマンの家庭教師や試験対策の機会を活用しました。

このプログラムを卒業したとき、シャモディは、ソーシャルモビライザーのメンターシップのさまざまな恩恵について考えました。シャモディは、コミュニティの少女たちに同じようなサポートを提供することに関心を持ちました。実際にソーシャルモビライザーになるまでに、それほど時間はかかりませんでした。

「ルーム・トゥ・リードは、あらゆる面で私の人生を明るくしてくれました。今後、自分自身や家族を支えるだけでなくルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムの一員になって、もっとたくさんの私のような少女の人生を変える機会も得ています」。

教育 = 創意



ヌルたん (タンザニア)

気候変動対策と起業家との 出会い

タンザニアでルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムに参加している10年生のヌルは、物心ついたときから環境について熱心に考えていました。校庭にゴミが溜まっているのを見て、環境に焦点を当てた活動と擁護を行うグループ「環境をきれいにする会」を結成しました。目標は、校庭と地域の緑地を清掃するためにクラスメートをまとめて、他の人たちにも同じようにするよう促すというシンプルなものでした。

「ライフスキルの授業では、自信と自己認識の築き方を学びます」とヌルは振り返り、「意思決定、コミュニ

ケーション、問題をクリエイティブに解決する術(すべ)を学んでいます」と続けました。ヌルさんは、こういったスキルが環境をきれいにするグループを指導する際に役立ったと確信しています。

ヌルとクラスメートは、プラスチックごみと、仕立屋で捨てられてしまう残布を回収するようになりました。回収したものから、少女達はこれらの資源を使って縄跳びの縄やドアマットなどの織物製品を作り、地域の人々に販売しています。製品を販売するという発想もライフスキルの授業から生まれました。

「金融リテラシーは、ルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムで重視されている重要なライフスキルの一つです」と語るヌルの担任の先生ギフトは、「少女達は、自分の財源を管理し、成長を可能にする重要な経済的・社会的決定を行うよう教えられています」と続けました。

ヌルはこの収入を主に、通学費や女子教育プログラムの他の生徒の支援に使っています。プログラムを通して教えられたライフスキルは、「環境保全だけでなく、環境にある資源を使って生活費を稼ぐ方法も教えてくれました」とヌルさんは語りました。

教育 = コミュニティ



教育、そして教育がもたらすすべてのものは、それに資するコミュニティ、つまり、学生、教育者、メンター、行政パートナー、コミュニティサポーター、両親、保護者など、それを実現するコミュニティによって実現します。前代未聞の困難に直面しても、ドナー、ボランティア、アンバサダー、スタッフによるグローバル コミュニティが協力し合い、学生の将来を守り、教育を確実に持続させていくためのサポートネットワークを構築しています。



教育 = 厚意



ルーム・トゥ・リードへの支援記録を塗り替えたリリー・シン



女優、プロデューサー、作家、クリエイターであるリリー・シンは、ゲームショー「ザ・プライス・イズ・ライト特番」で獲得した記録破りの慈善賞金の受取人としてルーム・トゥ・リードを選びました。これは、ルーム・トゥ・リードのプログラムを通じて、1,945人の子供達を支援しました。このエピソードは、2021年4月21日、CBS局のゴールデンタイムに放映され、リリーは有名人の出演者として他の出演者と一緒に番組ファンのお気に入りのゲームに参加し、高額賞金を獲得しました。「ザ・プライス・イズ・ライト」は、アメリカのテレビ史上でNo.1の視聴率を誇る昼番組であり、最長寿のゲームショーです。リリーは以前にもヨハネスブルグやサンフランシスコでルーム・トゥ・リードのイベントに協力し、2019年にはムンバイの女子教育プログラムの少女達の支援に直接参加しました。

ジョアン・ベスラミーにとって教育は未知の世界にアクセスするための鍵



ジョアン・ベスラミーは、11歳のときに家族で旅行したことをきっかけに、放浪癖に火が付きまして。大学で、ヨーロッパの国々を探検ながら、歴史学の学位を取得しました。カリフォルニア大学バークレー校とヘイスティングス大学法学部を卒業した後も、ジョアンは、教育があったからこそ世界の奇跡と美しさに触れることができたということ、世界中の子ども達、特に少女達は、ジョアンのように世界を知り、体験する機会が閉ざされていることを忘れずにいました。

ジョアンは、女性のための機会、識字、読書に熱心に取り組み、これらの分野の慈善活動を重点的に行っていました。2020年10月に亡くなったジョアンの遺贈先にはルーム・トゥ・リードも含まれていました。これは、16,000人以上の学生に必要な不可欠な識字教育と教育平等に関する支援となりました。ジョアンの輝きと情熱は、その寛大さによって人生が永遠に改善された生徒達の中に生き続けています。

親愛なる友人であるジョアン・ベスラミーとの素敵な思い出を共有してくださったパット・ウィリアムズに感謝いたします。

元教育者が寄付した全財産はルーム・トゥ・リードへの遺贈として過去最大

教師。司書。長年の女子教育支援者。このどれもが、ウィスコンシン州在住のヘレン*の一側面を表す言葉です。2021年、ヘレンは、460万ドルの価値のある全財産をルーム・トゥ・リードに遺贈しました。

ヘレンは生涯、ウォーワトサ市で献身的な教師および司書として若者の意識と心に働きかけてきました。学ぶ喜びを生徒達と分かち合いながらキャリアを積み、女子教育には特に強い情熱を持っていました。それが、ルーム・トゥ・リードを唯一の遺贈先に指名することにつながりました。

2021年初頭、84歳で逝去された際、その全財産をルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムに遺贈しました。この心温まるギフトは、過去最大の遺贈であり、ヘレンのご厚意は、女子教育プログラムで学ぶ15,300人以上の学生の人生を変えることとなります。

*故人の匿名希望につき、名前を変更してご紹介しています。

ルーム・トゥ・リード・ジャパンでもご遺贈のご相談を承っておりますjapan@roomtoread.orgまでお問合せください。

遺贈寄付は、何十年先までもの教育を支える

「マイクロソフトで働くことで、さまざまな分野の非常に多くの優秀な人々と接する機会を得ました。私はいち早く、教育は平等を生む優れものであることに気が付きました。ですから、性別や生まれた場所のせいで、教育を否定されたり、そのような形で機会や可能性が制限されたりしてしまうことは、耐え難いことでした」

- クレイグ・ハーブ (ルーム・トゥ・リードに推定100万ドルの遺贈を託した長年の支援者)。

教育 = 支援運動



ジェンダー平等のためにボランティアが「ステップアップ」する

献身的なボランティアネットワークは、イベントやファンドレイジングにより、必要不可欠なサポートを絶えず提供してきました。2021年には第一回のジェンダー平等をステップアップさせるためのバーチャルチャレンジ「Step UP for Gender Equality Virtual Challenge」が行われました。5月の1ヶ月間、ルーム・トゥ・リードのボランティアは、ランニング、サイクリング、瞑想、読書などの方法でジェンダー平等を啓発するファンドレイジングを行い、それぞれのネットワークに「ステップアップ」することを促しました。キャンペーン終了時には、目標を大きく上回る460人以上の女子教育プログラムの学生を支援するための資金が集まりました。BSIグループ、CAPCO、シビカ・アジア・パシフィック、クレディ・スイス、ギルバート+トビン、インテュイット、オプタス、シナジー・プラス、タッチャ、エステ・ローダー・アジア・パシフィックなど多くの企業パートナーとともに、各支部から10カ国120人以上の参加がありました。

ブック・クリエイター・コレクティブに作家/支援者が新たに参加

ルーム・トゥ・リードは、世界を変えるストーリーの力を信じる作家やイラストレーターのグローバルネットワークであるブック・クリエイター・コレクティブに7人のメンバー作家デボラ・アベラ、トリスタン・バンクス、ナンドナ・デヴ・セン、オリバー・ポマヴァン、シュグリ・サル、シータルシス、およびモシン・ザイディを新たに迎えました。



Nandana Dev Sen



Deborah Abela



Tristan Banks



Oliver Phommavanh



Shugri Salh



Sheetal Sheth



Mohsin Zaidi

教育＝リーダーシップ

グローバル理事会の変遷

2021年、タッチャ (Tatcha) 社の創業者ビッキー・ツァイ、リディー・ハドソン、ロジテック (Logitech) 社の最高マーケティング責任者ナジョー・ティタ・リードをはじめとする複数の新メンバーがグローバル理事会に加わりました。また、ルーム・トゥ・リードの創設者ジョン・ウッドがグローバル理事会から退任となりました。ジョンは、今後もルーム・トゥ・リードのファミリーの一員として、教育を通じて子ども達の人生を変えるための活動を積極的に行っていく予定です。



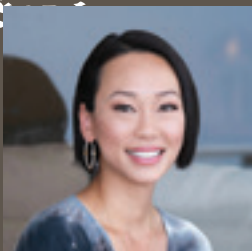
「創業者としての夢を叶えることができたように思えます。今、組織全体を見渡してみると、何百人もの優秀なリーダーらが日常的に変化を生み出していることが分かります。私が去った後もこの組織は成長し続けることを確信しました」- ルーム・トゥ・リード創設者、ジョン・ウッド



「未来に持続させるには、次世代へのグローバルな投資が不可欠です。これにより、性別や経済的な生い立ちに関係なく、世界中の子どもたちが教育を受けられるようになります。ルーム・トゥ・リードという、官民両セクターからのメンバーで構成されているグローバル理事会に加わり、非識字とジェンダー不平等を根絶するという使命を支援し、貢献できることを光栄に思います」- リディー・ハドソン



「教育はすべてである — 性別や経済的な生い立ちに関係のない不変の権利です。偏見や不平等のない世界で、すべての子どもたちがこの権利を行使することを確実にする機会です。アフリカの村に生まれ育った少女として、そして米国のマイノリティとして、教育を受ける権利のために戦ってくれる人たちがいたからこそ、今の私があります。ルーム・トゥ・リードのコミュニティに参加できることを光栄に思うと同時に、明日を形作る識字能力とライフスキルを備えた未来の世代を支援する一翼を担えることに喜びを感じています」- ロジテック社最高マーケティング責任者、ナジョー・ティタ・リード



「ルーム・トゥ・リードの理事会に加わり、グローバルに広がる役割の中で、教育を通じて子どもたちの人生を変えていくというルーム・トゥ・リードの使命を支援し続ける機会を与えられたことを心から光栄に思います。COVID-19 の影響で世界中で 10 億人以上の子どもたちが通学できずにいる状況の中で、ルーム・トゥ・リードの活動に対するニーズはかつてないほど高まっています。タッチャの「ビューティフル・フェーズ・ビューティフル・フューチャーズ・プログラム」を通じて、このルーム・トゥ・リードの継続的な成長の一翼を担い、公私ともに貢献できることを光栄に思います」- タッチャ創業者、ヴィッキー・ツァイ (2021年のスピーチ)

MAJOR PARTNERS

Organizational investors are critical to our success in improving the lives of children from historically under-resourced communities around the world. Whether through grants, employee engagement, cause marketing partnerships or in-kind donations, these partners help us create benefit at scale.



Atlassian Foundation International has donated more than US\$12.5 million toward Room to Read's programs. In 2019, Atlassian was the largest investor in our Girls' Education Program in Cambodia and the largest corporate investor from Australia. Atlassian staff also provide significant personal support to Room to Read through their "Dollars a Day" workplace giving program.



Since 2015, Bank of America – BA Continuum India (BACI) has supported Room to Read's literacy efforts in India through the establishment of 230 libraries. BACI is also supporting thousands of girls in the Girls' Education Program in India.



Since 2016, Room to Read has gratefully received over US\$2.7 million in funding from BNP Paribas Group and its employees globally. BNP Paribas Group entities supported our Girls' Education Program in India and Vietnam through corporate social responsibility grants and employee engagement. This partnership has helped more than 19,284 girls to succeed in secondary school and develop key life skills.



Since 2019, Cartier Philanthropy has partnered with us to support Girls' Education in Cambodia and Bangladesh through a multiyear grant. Cartier Philanthropy is promoting the advancement of gender equality in education in these countries by impacting a total of 4,350 girls, changing the life trajectory of not only these girls but also their families and communities.



Through its *e for Education* initiative, Citi donates a percentage of the business proceeds traded electronically across its Markets franchise to education-focused nonprofits. Citi's *e for Education* has raised over US\$56 million to date and Room to Read and Citi have been partners since the inception of this campaign in 2013. In 2021, Room to Read was the recipient of a US\$930,000 grant toward our areas of greatest need.



Credit Suisse has been a strong corporate partner since 2005, benefiting more than 150,000 children to date and funding multiple strategic projects, including the launch of Room to Read's technical assistance work. Room to Read is one of the key partners in the Credit Suisse Financial Education for Girls Program, implementing financial education and life skills clubs in Tanzania and Sri Lanka. In addition, Credit Suisse launched a corporate matching program in 2020 to support our COVID-19 initiatives. Furthermore, Credit Suisse sponsored our 2020 virtual global gala, donates office space for Room to Read staff in Asia and provides capacity-building through its Global Citizens Program.



In 2021, Echidna Giving made a 4-year grant investment in our Girls' Education Program. Echidna Giving is a leading thought partner for Room to Read in the areas of innovation, analysis, learning and systemic change.



Google.org is a long-time, essential partner in advancing projects critical to Room to Read's mission. Google has supported new projects to train teachers in Indonesia on conducting effective reading activities and increase access to Bahasa Indonesia children's stories on LiteracyCloud.org, our digital learning platform. In addition, many Google employees have directed their time, talent, and treasure to help create much-needed educational opportunities for children around the world.




Through Goldman Sachs and Goldman Sachs Gives, the company and its senior executives have contributed more than US\$25.6 million to Room to Read. In 2021, Goldman Sachs supported our Literacy and Girls' Education Programs, benefiting more than 10,827 children.





IKEA Foundation IKEA Foundation has invested in Room to Read's literacy work in Bangladesh and Indonesia since 2016. The IKEA Foundation has also supported Room to Read's first-ever girls' education-focused technical

assistance project in India, providing thousands of girls with improved educational opportunities and the tools they need to navigate key life decisions.

 Since 2016, IMC has invested generously in Room to Read's Literacy Program in Africa. Throughout our partnership, IMC has contributed more than \$10.8 million to Room to Read, helping to equip young learners in South Africa and Tanzania with the powerful tool of literacy that will transform their own lives, as well as their communities and future generations.

 TATCHA. Luxury skincare brand Tatcha has been a Room to Read corporate partner since 2014, with a percentage of every purchase supporting Room to Read's global literacy and girls' education programs through its Beautiful Faces, Beautiful Futures fund. Through December 31, 2021, Tatcha has funded more than 6.4 million days of school for girls in Africa and Southeast Asia and provided 68,000 books to children in underserved communities throughout the United States.

 Room to Read partners with UNICEF across our program countries in Asia. Our partnership with UNICEF Bangladesh works to increase the learning outcomes of the host community students in Cox's Bazar through professional development for educators, school governance and community engagement. Additionally, we collaborate to provide supplementary teaching and learning materials to educators and quality reading materials to the children in Rohingya refugee camps. Our partnership with UNICEF India supports the scale-up and institutionalization of our Literacy and Girls' Education Programs in multiple states. In Sri Lanka, we partner with UNICEF to improve learning environments in Kilinochchi, provide quality learning materials and train teachers to promote improved reading habits among children.

 **USAID**
FROM THE AMERICAN PEOPLE
Room to Read partners with USAID directly in India through a prime cooperative agreement, as well as with USAID consortiums as a subcontractor in Bangladesh, Cambodia, India, Laos, and Rwanda (with Winrock, RTI, CARE, Save the Children and Chemonics, respectively). Through these partnerships we are able to work with country governments at scale to benefit millions of children, teachers, coaches, and government officials and communities with training, teaching and learning materials in mother tongue languages, and best-practice technical assistance.

WARBURG PINCUS In 2020, Room to Read launched a partnership with Warburg Pincus to scale our Girls' Education Program in India and develop a framework for our global climate justice curriculum. This support enabled Room to Read to reach girls in India during a critical time through a mixed modality approach that considered all levels of access to technology.

 **World Food Programme** With support from the United States Department of Agriculture's

McGovern-Dole Food for Education and Child Nutrition Program, Room to Read partners with The World Food Programme to implement a 6-year (2018–2023) literacy project in Cox's Bazar. The first 2 years of the initiative, Room to Read extended technical support to the implementing partners and implemented directly in two upazilas starting in the third year. The project's midline evaluation showed that, even after only one year of intervention, that students' reading skills had improved, especially in letter sounding fluency and oral reading fluency.





寄贈者リスト

\$500K+

Atlassian Foundation International
 BNP Paribas
 Citi
 Credit Suisse AG
 Echidna Giving
 Google.org
 IKEA Foundation
 IMC
 Save the Children
 Tatcha
 UBS Optimus Foundation
 UNICEF
 United States Agency for
 International Development
 (USAID)
 Warburg Pincus
 World Food Programme

\$250K-499K

Bank of America
 Bertin Family Foundation
 Cartier Philanthropy
 Comic Relief US | Red Nose Day
 Research Triangle Institute
 International

\$50K-249K

All The Sky Foundation
 Ananta Foundation
 Anonymous
 Bajaj Auto
 bareMinerals and the
 Hopewell Fund
 BlackRock
 Bloomberg
 Burger King Foundation
 Caerus Foundation, Inc.
 CARE USA
 Central Square Foundation
 Charities Aid Foundation
 of America
 Clariant Foundation
 CVC Capital Partners
 Dr. Ausbüttel & Co. GmbH
 Erol Foundation
 Four Acre Trust
 Ghemawat Charitable Fund
 HS Chau Foundation
 HSBC Sri Lanka
 Humanitix
 Humble Bundle
 Mamamia

Maxwell Stamp Ltd.
 MetLife Foundation
 Morgan Stanley India
 RG Manudhane Foundation
 for Excellence
 Robeco Foundation
 Skoll Foundation
 The Estée Lauder Companies
 Charitable Foundation
 The Patrick J. McGovern Foundation
 The Townsend Foundation
 Travel Sentry
 Wells Fargo International Solutions
 Private Limited
 Winrock International

IN-KIND DONORS

We would like to thank our partners who provided gifts-in-kind support that was crucial to our success in 2021 including Salesforce, Scholastic, Books for Africa, Keyes Consulting, GumDrop Books and Capco.



रिटाफासी
RITAFASI

財務報告

Our work is possible because of the generosity of our worldwide network. We are deeply committed to operating with the utmost financial efficiency and transparency, so that you know your investments are providing the greatest benefit to the communities we serve.

FINANCIAL HIGHLIGHTS

CASH DONATIONS

US\$80.3M

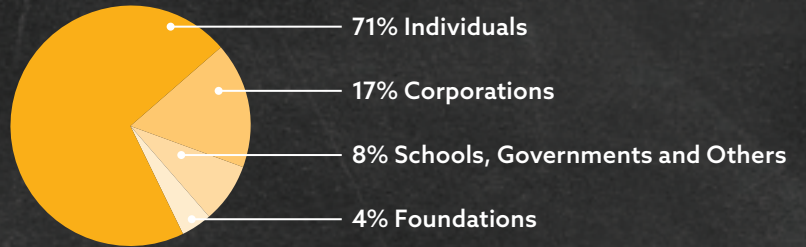
IN-KIND DONATIONS

US\$7.3M

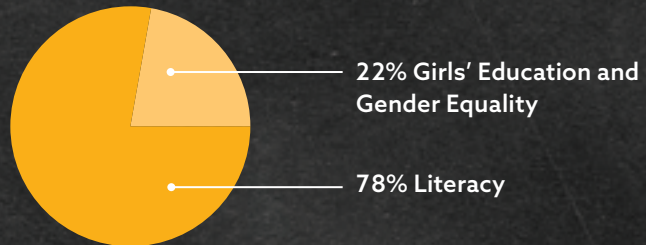
SPENT ON PROGRAMS

88%

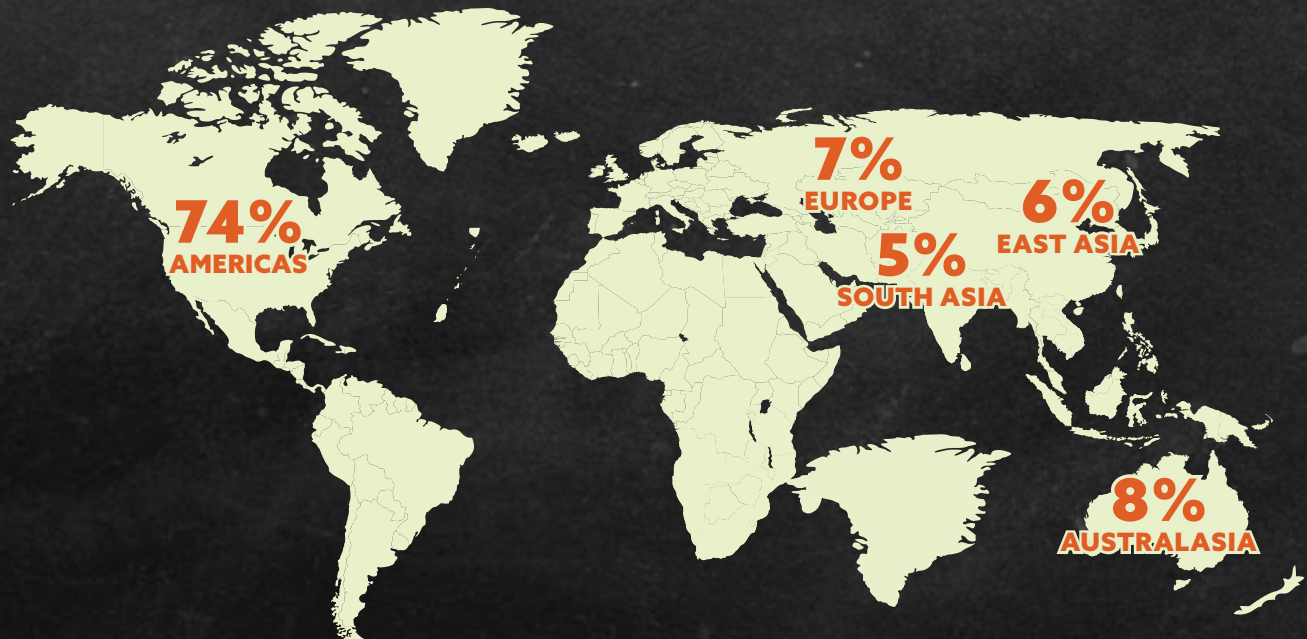
DONATIONS BY TYPE OF INVESTOR



PROGRAMMATIC EXPENSE BREAKDOWN



SOURCES OF REVENUE BY REGION



STATEMENT OF ACTIVITIES

For the years ending December 31, 2021, and December 31, 2020 (USD)

| Support and Revenue: | 2021 | 2020 |
|--|---------------------|---------------------|
| Corporations | \$13,470,789 | \$15,862,424 |
| Foundations | \$3,376,847 | \$11,489,283 |
| Individuals | \$56,668,068 | \$24,755,890 |
| Schools, governments and others | \$6,723,117 | \$5,073,051 |
| Total Donations | \$80,238,821 | \$57,180,648 |
| Contract Revenue | \$138,442 | \$55,000 |
| Donations In-Kind | \$7,338,898 | \$4,757,294 |
| Investment and Other Income (Loss), Special Event Expenses, Fees | \$2,128,998 | \$66,114 |
| TOTAL SUPPORT AND REVENUE | \$89,845,159 | \$62,059,056 |

| Operating Expenses: | 2021 | 2020 |
|--------------------------------------|---------------------|---------------------|
| Program Services | | |
| Literacy | \$40,866,992 | \$31,101,264 |
| Girls' Education and Gender Equality | \$11,831,926 | \$10,700,299 |
| Total Program Services | \$52,698,918 | \$41,801,563 |
| Management and General | \$2,238,718 | \$1,876,847 |
| Fundraising | \$4,609,711 | \$4,344,585 |
| TOTAL OPERATING EXPENSES | \$59,547,347 | \$48,022,995 |

| | | |
|--|---------------------|---------------------|
| Translation adjustments | \$(362,247) | \$315,627 |
| Change in Net Assets Without Donor Restrictions | \$22,290,086 | \$12,013,585 |
| Change in Net Assets With Donor Restrictions | \$7,645,479 | \$2,338,103 |
| Net Assets Without Donor Restrictions at Beginning of the Year | \$26,832,378 | \$14,818,793 |
| Net Assets With Donor Restrictions at Beginning of the Year | \$17,461,879 | \$15,123,776 |
| TOTAL ASSETS AT END OF THE YEAR | \$74,229,822 | \$44,294,257 |

Room to Read's financial statements have been audited by independent certified public accountants and are available on our website.

リーダーシップと理事会

Our board members are the backbone of our leadership. We gratefully recognize them here.

理事会役員

ユスフ・アリレザ、ARPグローバル・キャピタル CEO兼CIO
ジョン・リンドファーズ、DSTグローバル 共同創設者兼マネージングパートナー
アンドリュー・ボールズ、PIMCOグローバル債券担当 CIO
メアリー・パイロン、ゴールドマン・サックス 元パートナー
マイク・キャノン・ルックス、アトラシアン 共同創設者兼共同CEO
サビーネ・チャルマーズ、BTグループ ゼネラルカウンシル
ルイス・クラウチ博士、非営利団体RTI 上級名誉経済学者
リディー・ハドソン
カール・ハッテンロツヒャー、ミリアド・アセット・マネジメント
マネージングパートナー
スコット・カプニック、HPSインベストメント・パートナーズLLC
CEO
エリザベス・M・キング博士、ブルッキングス研究所 ノンレジデント・シニア・フェロー
ギータ・ムラリ博士、ルーム・トゥ・リード CEO
スタシア・オブレムスキー、RHキャピタル マネージング・ディレクター
ジョン・リディング、フィナンシャル・タイムズグループ CEO
ナジョー・ティタ・リード、ロジテック 最高マーケティング責任者
ビッキー・ツァイ、タッチャ 共同創業者兼元 CEO
フランク・バン・ビーネンダール、セールスフォース 元社長
兼副会長

名誉理事会

スーザン・ウォシッキー、ユーチューブ CEO
ヒラリー・バレンタイン (理事長)
クリストファー・S・ピア、アイロン・マーク・ロー・グループ 創設メンバー
クレイグ・ブルーヤ、マイクロソフト ビジネス ソリューション 元CFO
ジェリー・デル・ミシア、コッパー・ストリート・キャピタルLLP 創設者兼社長
エリン・ガンジュ、ルーム・トゥ・リード、共同設立者兼元CEO、エキドナ・ギビング 常務取締役
ピーター・T・グラウアー、ブルームバーグL.P. 会長
ティム・クーグル、ヤフー 元CEO兼会長
アラスデア・マクタッガー、セコンド・ストリート・ファンド 社長、カリフォルニア・フォー・コンシューマー・プライバシー 創設者兼会長
キム・アンスタット・モートン、ガール・ライジング 理事長
フェルナンド・ライミズ、フォード財団国際教育教授、ハーバード大学グローバル教育および国際教育政策ディレクター
ムニー・A・サッター、サッター・インベストメント・マネジメント 会長
ジョン・ウッド、U-Go 創設者兼CEO、ルーム・トゥ・リード創設者、コンセントリック・エクイティ アジアパートナー

地域委員会

ASEAN

マーク・ベディンガム
ニコラス・ナッシュ&ファルガン・ラーユ
ヘルマン&リーアー・シートーハング
ジャスティン&ケリー・テーオー
アグネス&トニー・ザメクチョウスキ
デービッド&キャスレン・ジーマンズ

アジア太平洋

ローレン&ジェームズ・ホートン
ジェーソン・カーラズ
ジョン&カミラー・リンドファーズ
アンジェラ・マッケイ
エイミー・パウエル
ディーター・タロフスキー&ローラ・ハワード

オーストラリア

バサム・アフラック&リタ・アーザー
マイク&アニー・キャノン・ブルックス
ブレット・アンド&ゴドフリー
チャールズ・アンド&ゴーマン
ジェーソン・カーラズ&アナー・ベリー
カーラズ
デービッド・トリプル&ドナ・イップ



Join Us

教育への投資

ルーム・トゥ・リードへの寄付は、教育を通じて、世界中の何百万人もの子どもたちの生活を大きく変えるための活動に役立てられています。

グローバル・ムーブメントを応援しませんか

世界中で、ルーム・トゥ・リードの活動を支援くださる何千人もの情熱的で献身的なボランティアの皆様から感謝いたします。各国にあるチャプター（支部）は、それぞれのコミュニティでの募金活動や認知度を高める活動を通じて、ルーム・トゥ・リードの成功を支えています。ウェブサイトにて、最寄のルーム・トゥ・リード・チャプターに関する情報をご確認ください。

マッチングギフトプログラムの確立

マッチングギフトプログラムは、従業員が行った寄付と同額を雇用主が寄付することで、従業員が熱心に取り組んでいる非営利団体を支援することを目的としています。マッチング・ギフト・プログラムを活用すると、その効果が2倍または3倍になります。お勤めの会社でこのようなプログラムが実施されているかどうか、ご確認ください。

サポーターとしての活動をご希望の方は、japan@roomtoread.orgまでご連絡ください。

ルーム・トゥ・リードのグローバル・オフィス：コロンボ、ダッカ、デリー、ホーチミン、香港、カトマンズ、ロンドン、ムンバイ、ナイロビ、ニューヨーク、プレトリア、サンフランシスコ、シンガポール、シドニー、東京、千葉、ワシントンDC、チューリッヒ

ソーシャル・メディア

ルーム・トゥ・リード・ジャパンのコミュニティの一員になりませんか。

Facebook: /RoomtoRead.Japan

Instagram: @RoomtoRead_jp

Twitter: @RoomtoRead_jp

YouTube: /RoomtoReadJapan

LinkedIn: /company/Room-to-Read

Design: shirleycreative.com

Photos: Kuldeep Bhawsar, Andrea Borgarello, Will Carnahan, Nguyen Minh Duc, Emdadul Islam, Khouvathin Khounphachansy, Julius Mahela, Phonpadit Nanthavong, Tieu Nhat Nam, Nam Nguyen, Manisone Philathivong, Jonathan Seni, Sam Sophanich, Tommy Tempo, Joub Vary

© 2022 Room to Read. All rights reserved.